

自己点検・自己評価の概要

1. 教育目標

- (1) 学生の主体性を育む授業づくりを行う
 - アクティブ・ラーニングが[®]できる授業展開
 - シミュレーション教育の実践
- (2) 授業評価の活用
 - 教育委員会において看護領域に関する学生の授業評価を分析し次年度に行かす
 - 授業評価のシステム化を検討する
- (3) 教員の資質向上を図る
 - 教員のチーム活動を推進する
 - 研修制度の確立（学会等派遣・臨床等の人事交流）
- (4) 特色ある学校創り（教育活動）を目指す
 - 卒業生及び在校生に対するキャリア支援の定着を図る
 - 放送大学との連携づくりを推進する
- (5) 臨床現場との連携を強化
 - 教育課程編成委員会を年2回実施し看護基礎教育に係る双方の課題を明確にし課題解決を図る
 - TA制度の充実・強化

2. 財政体質の安定化

- (1) 毎年度の収支を見極めた予算計画を立てる
 - 各部所からの予算要求は優先順位を決める
- (2) 財源確保への取組
 - 退学者、休学者の増加を抑える
 - 学習困難者の支援対策を検討し実践する
- (3) 選ばれる学校を目指す
 - 国家試験100%を目標とする
 - 教育環境整備を充実させる
 - 学生と教員のリレーションを円滑にする

3. 組織構造の改善

- (1) 自己点検・自己評価に連動させた学内委員会活動の活性化を図る
- (2) 当該年度における学内役割分担に伴う業務と自己の目標管理との連動性を図る
 - 自己の目標管理との連動性を図る
- (3) 目標管理システムの定着
 - 業務目標設定時面接実施（5月）
 - 中間面接の実施（10月～11月）
 - 期末面接の実施（1月～2月）
- (4) 学校関係者評価の精度を上げる

学校関係者評価委員に大学教員を加えることを検討する

(5) ワークライフ・バランスの実施

効率的な会議運営

日常行務の見直し（時間外業務の分析）

情報伝達・共有の円滑化（メールの活用）

計画的有給休暇取得の推進

3. 各評価指標の概要

指標：教育理念・目標

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
2) 学校における職業教育その他の教育指導等の特色は何か	4
3) 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
4) 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか。	4
5) 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

課題： 本校における看護教育の特色をより鮮明にする。

教員の資質向上

自己点検・自己評価の効果的運営と教育課程編成委員会の活性化

保護者との連携を密にして教育理念等に係る効果的な周知に方法の検討が必要である。

改善策： 学内における検討会（仮 将来検討委員会）を立上げ、ディスカッションを進める。

FD 活動一環で研修報告及び学内企画の教員研修を実施する。

- ・ 授業評価を可視化し、領域ごとに分析する。

自己点検・自己評価の結果を教職員が共通する。

- ・ 学内における委員会活動と連動させた各自の業務計画を実施する。

- ・ 臨床現場が学校に求める事は何か県内の状況を把握し、教育課程編成委員会で検討する。

効果的な周知方法の検討をする。

- ・ 後援会総会時に建学の理念及び教育目的の説明を行う。

指標：学校経営

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
2) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
3) 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか・有効に機能しているか。	4
4) 人事、給与に関する規程等は、整備されているか	4
5) 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4

6) 業界や地域社会等にコンプライアンス体制が整備されているか。	4
7) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4
8) 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4

課題： 全教職員が学校経営に関わっているという認識を持つことが必要。

教育活動のPRを推進。

改善策： 湘央学園理事会への報告した「年度の事業計画」及び「行動目標の達成状況」の報告を教務会や職員会議で提示する。

- ・各自の業務計画及び委員会活動との連動を図るようにする。
管理者による年度初めの施設訪問を実施し、看護基礎教育の在り方などを相互理解する。
- ・教育課程編成委員会や学校関係者評価以外に実習施設との相互交流を検討する。
- ・非常勤講師とのコミュニケーションや学校の情報提供を図る。
- ・広報活動の徹底。

指標：教育活動

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか。	4
2) 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4
3) 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか。	4
4) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
5) 関連分野の企業・関係施設など、業界団体などとの連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか。	4
6) 関連分野における実践的な職業教育（産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習など）が体系的に位置づけられているか。	4
7) 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4
8) 職業教育などに対する外部関係者からの評価を受け入れているか。	4
9) 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4
10) 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるのか。	4

課題： 看護師教員養成講習会の受講率を上げる。

教員のモチベーション維持を図る。

専任教員の確保を容易にする。

改善策： 看護教員養成講習会の県内開催を所管部署へ要請と同時に県外派遣や放送大学の活用を務める。

学内におけるFD活動を活性化し、研修・研究報告会や教授展開において効果的な取組をしている教員の実践活動を紹介し、一体感の醸成を図る。

- ・日本看護学校協議会主催看護教員夏季研修への派遣を定例化し、新任教員のモチベーション維持を図る。
- ・病院等との人事交流

沖縄県ナースセンターとの連携。

- ・教職員間のネットワークを活用する。

指標：学修成果

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 進学率や就職率の向上が図られているか	4
2) 資格取得率の向上が図られているか	4
3) 退学率の低減が図られているか	4
4) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5) 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4

課題： 休学者の多くがメンタル面の課題を抱えている。

卒業生・在校生の社会的な活動及び評価と卒業後のキャリア形成への効果の把握について今後も検討を要する。

改善策： スクールカウンセラーの配置を隔月から月1回（17：00～19：00）に変更し対応する。

同窓会と連携し調査を実施する。

- ・卒業生の就職先での就職状況を把握し、本校における看護基礎教育の課題を明らかにする。
- ・卒業後のキャリア形成の効果把握については、継続的に検討する。

指標：学生支援

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
2) 学生の健康管理を担う組織体制はあるのか	4
3) 課外活動に対する体制は整備されているか	4
4) 学生の生活環境への支援は行われているか	4
5) 保護者と適切に連携をしているか	4
6) 卒業生への支援体制はあるか	4
7) 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
8) 専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4
9) 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4
10) 学生の安全管理のための取組等（災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援等）	4

11) 進学・就職指導に係る支援体制は整備されているか	4
-----------------------------	---

課題： 社会人ニーズを踏まえた教育環境の整備について、把握が必要である。

病院や市町村奨学金貸与については、把握できていない。

健康診断の結果を踏まえた保健指導については、対象学生が多く終了までに2か月を要しているため、実施方法を検討して必要がある。

改善策： 奨学金貸与と学生の実態を把握する。

社会人ニーズを踏まえた教育環境では、必要時対応する。

指標：教育環境

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1
1) 施設・整備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されているか	4
2) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
3) 防災に対する体制は整備されているか	4

課題： 学生個人のロッカーを設置したが容量が智小さい。

各実習室でのカンファレンス室のスペースなどは今後も継続課題である。

実習中の多目的コーナーなど清掃が滞る事がある。

改善策： 学生個別のロッカーは教材室、倉庫の活用を検討する。

各実習施設とその都度調整し、継続して対応する。

業者との調整を検討する。

指標：学生の受け入れ募集

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、やや不適切... 2、不適切... 1
1) 学生募集活動は適正に行われているか。	4
2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
3) 学納金は妥当なものとなっているか。	4

課題： 既卒者の受験者数が減少傾向にある。

新卒者の受験者数を増やす工夫が必要である。

改善策： 入学時アンケート調査を実施し、学校案内パンフレット、ホームページ、オープンキャンパスを充実させ必要な情報を詳細に伝えて様に努める。工夫・改善が必要なことを把握する。

職業別講話や模擬授業の実施を検討する。

指標 : 財務

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4
2) 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
3) 財務について会計検査が適切に行われているか。	4
4) 財務情報公開の体制整備はできているか。	4

課題： 予算執行の無駄をゼロに近づける。

改善策： 予算執行の費用対効果を考え合理的に執行していく。

指標 : 法令等の遵守

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか。	4
2) 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか。	4
3) 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
4) 自己評価結果を公表しているか。	4

課題： 法令遵守の徹底。。

対応策： 定期的に教職員を対象に特別講座を実施、法令遵守についての注意喚起を図る。

・法令を踏まえた学校の管理運営を全教員が意識して活動する。

指標 : 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
2) 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
3) 地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4

課題： 学生ボランティアの参加が減少している。

改善策： 教育課程の中に組み込めるか検討する。

成人看護学概論の中でボランティアで出会った方を元に対象理解に繋げる授業展開を検討する。

指標Ⅺ：国際交流

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4
2) 学内での適切な体制が整備されているか。	4

課題： 国際交流は4年目を迎え関係機関にも認知されるようになってきたが今後も継続が必要。

改善策： 国際看護の授業を通して現在の体制を維持していく。

指標Ⅻ：特別活動等

評価項目	適切... 4、ほぼ適切... 3、 やや不適切... 2、不適切... 1
1) クラブ活動特別活動を奨励、支援しているか。	4
2) 保護者会等と連携した活動を推進しているか。	4

課題： 手話活動の拠点を学内だけではなく地域の聴覚障害のある方とコミュニケーションを積極的に取る場を設ける必要がある。

クラブ全員の参加は、時間割の都合や放課後の技術演習等があり毎週の学習会参加が困難な時期がある。

改善策： 地域に学生の活動を理解し、受入れる場があるか情報を取る。

演習や課題の多い時期を除いた緩やかな活動を行い、継続する。

・学校行事に日頃の学習を披露し活動の場を広げる。